

令和6年3月22日
山梨県地域支え合い活動推進セミナー 資料

地域の笑顔を運ぶ 「きくさわスマイル号」 の活動紹介



地域の「困った」を「良かった」に変える
スマイルきくさわ(第2層協議体)の歩みと活動

鹿沼市菊沢地区
スマイルきくさわ第2層協議体
会長 紺野 勝寛

鹿沼市社会福祉協議会
地域福祉課 地域福祉係長
鹿沼市公共交通活性化協議会委員
齋藤 裕嗣



「どこにあるかいつも分からなくなる都道府県ランキング4位の栃木県にある」

栃木県鹿沼市ってどこ？



鹿沼秋まつり



いちご



にら



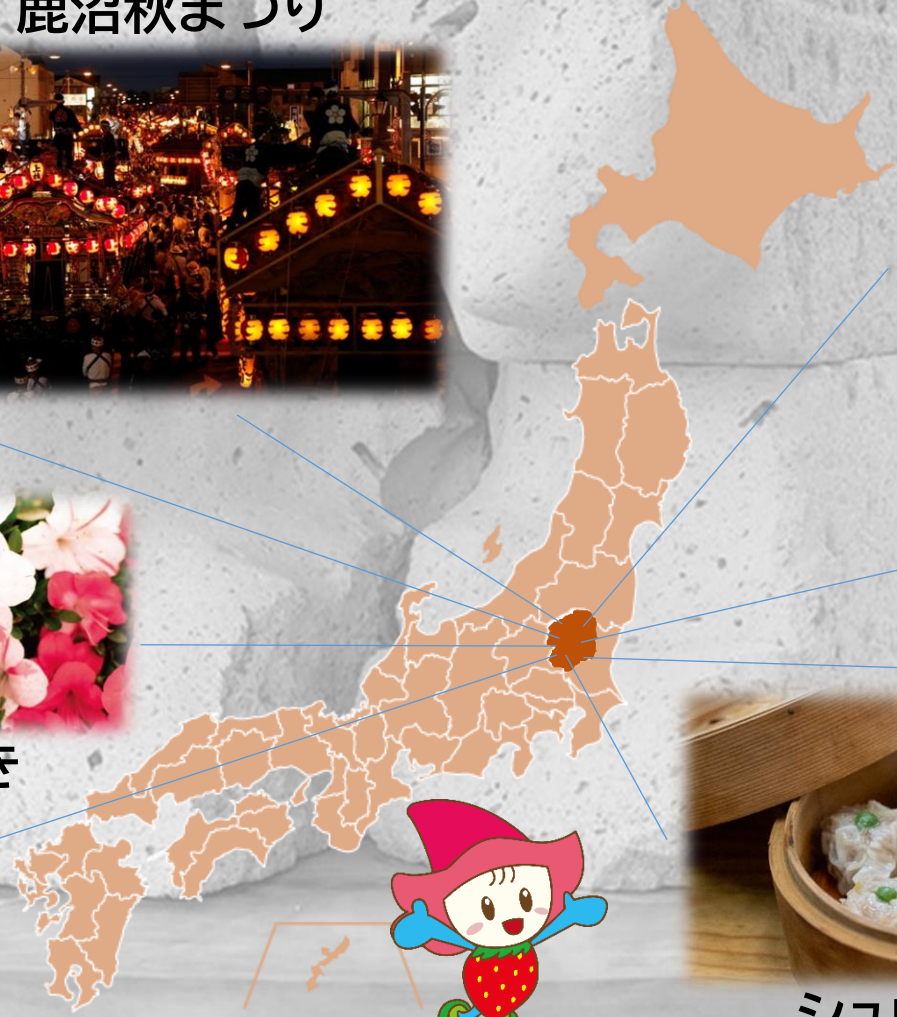
お千手山公園



さつき



鹿沼組子



シュウマイ



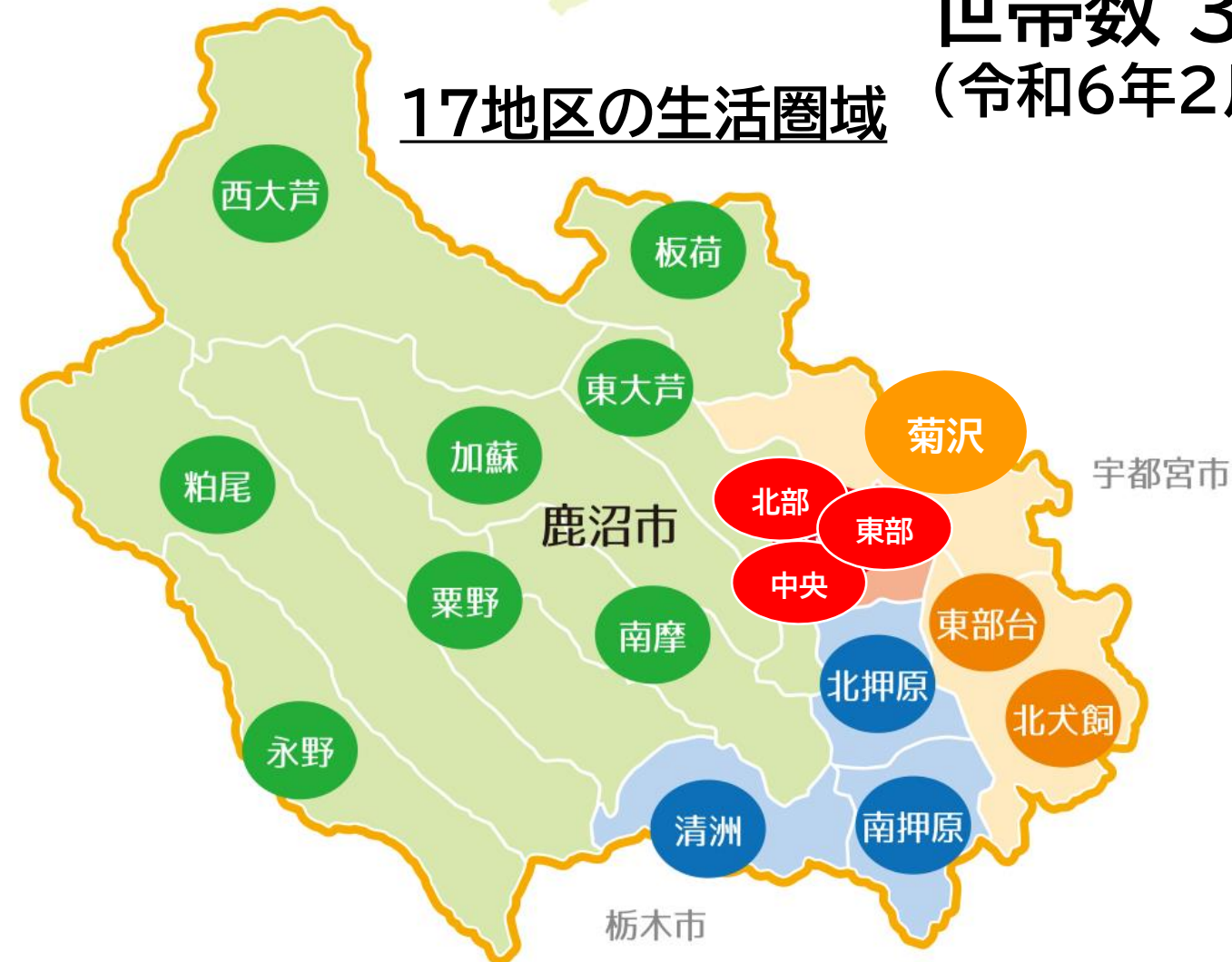
鹿沼そば

鹿沼市の特徴

総人口 91,353人
世帯数 36,760
(令和6年2月1日 現在)

高齢化率30.86%
75歳以上14,213人
後期高齢者率14.94%
(令和4年3月31日 現在)

17地区の生活圏域



色区分	地域の特徴
赤	鹿沼市中心部で、市役所や鉄道の主要駅があります。起業したい若者が集まり、カフェなどのお店が次々とオープンしています。
黄	鹿沼インターチェンジを中心に、工業団地、流通センター、免許センターなどがあり、宇都宮市や栃木市に隣接する地域です。交通の利便性に優れ、住宅地も造成されています。
緑	山々が連なり、豊かな緑と美しい清流に囲まれた地域です。ハイキングや登山など観光スポットとして人気がある他、農林業も盛んです。
青	平野が広がっている地域です。優良な農地を生かした農業が盛んで、田園風景が見られます。清洲地区には工業団地があります。

菊沢地区の特徴

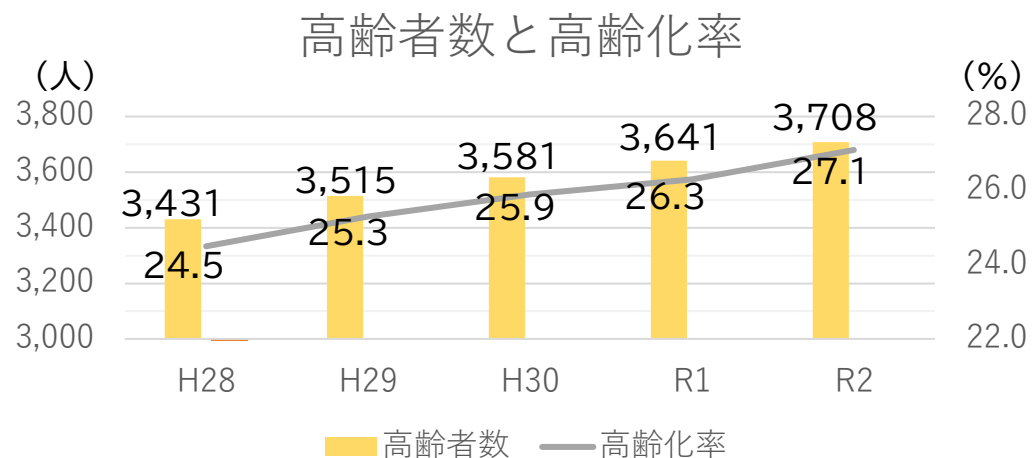
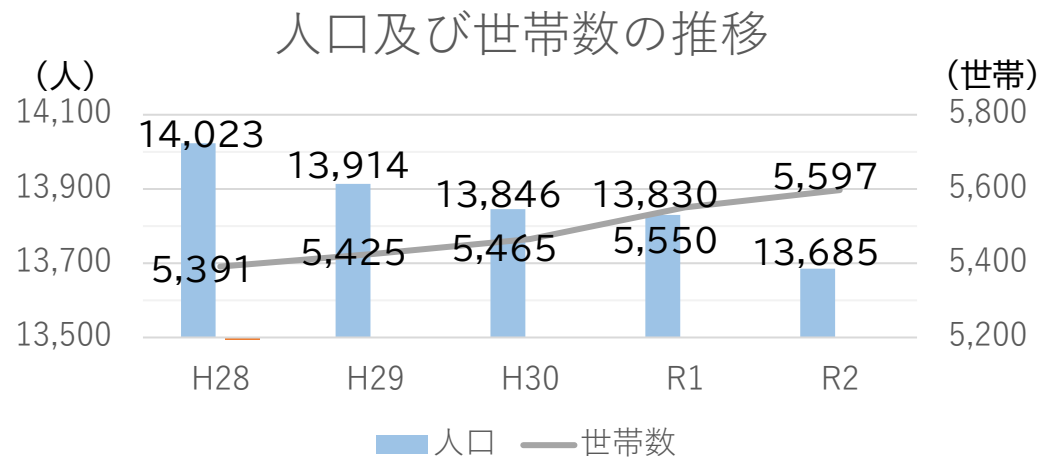
菊沢地区は、地域内に工業団地を有し、その近くを国道121号線と293号線、更には鹿沼環状線が通っているなど、鹿沼市の産業・物流の要所となっている。また、菊沢フルーツロード等により、地域振興にも力を注いでいる。地域が抱える問題としては、人口の集中する千渡地区で高齢者数の増加が高く、人口減少傾向と相まって、地域で支え合う仕組み作りが求められている。

人口
13,534人
世帯数
5,013世帯
1世帯/人数
2.70人

高齢者数
(65歳以上)
3,801人
高齢化率
27.6%

町名	人口	世帯数
玉田町	1,862	642
見野	647	219
下遠部	52	20
富岡	440	130
武子	1,395	495
下武子町	1,410	531
古賀志町	44	16
高谷	82	28
仁神堂町	1,104	380
栃窪	510	185
千渡	5,988	2,367

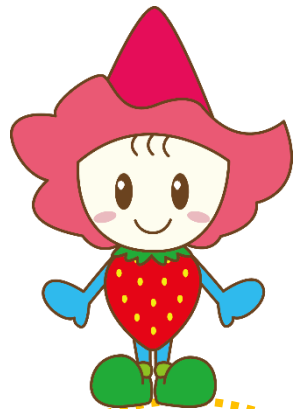
令和4年11月1日現在



地域の支え合いボランティア送迎ができるまで

ホップ 「話し合いの場づくり」

- ・会議 ≠ 話し合いの場
- ・誰もが意見を言う
- ・否定しない
- ・最後まで聞く
- ・多数決で決めない
- ・合意形成と納得感
(それいいね！)



ステップ 「地域でのつながりづくり」

- ・口コミ、声掛けでつながる
- ・協力者を巻き込む
- ・活動の見える化、見せる化



ジャンプ 「地域のチカラを活かす」

- ・自分たちだけで頑張らない
- ・地域にあるものを活用



「できることから
少しずつやってみる」

「やってみてダメだったら
やめればいい」



きくさわスマイル号
の立ち上げ

菊沢の曰頃感じていることを話そう

菊沢地区地域包括ケア会議(第1回)(平成30年7月12日)「意見交換」

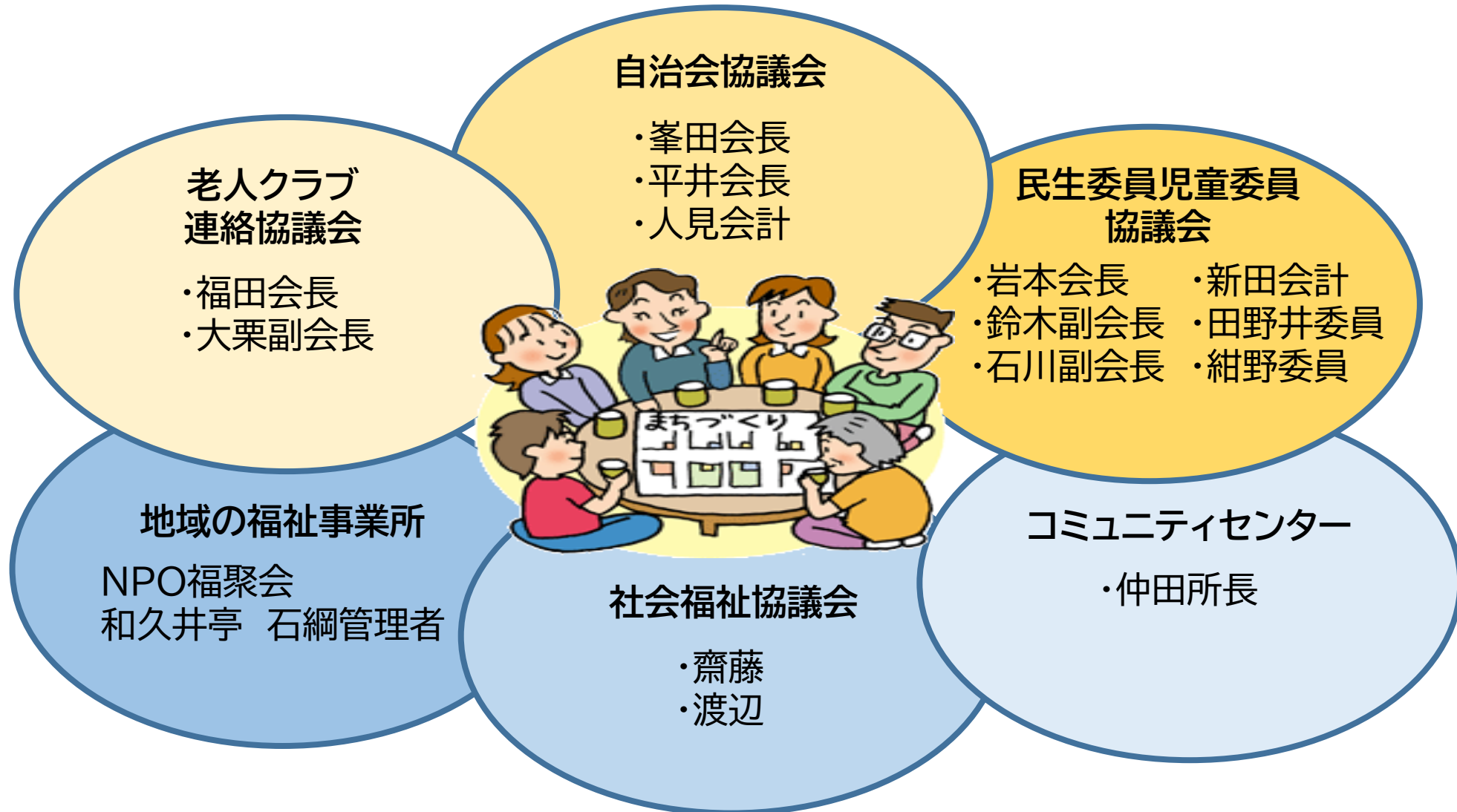
- ・地域包括ケアシステムと協議体についての勉強会を実施
- ・曰頃感じている地域のことについて**自由に意見交換**
 - 地域の高齢者の足の問題について課題に感じているという意見が多かった
 - 会議のメンバーで勉強会と課題への取り組みをスタート



ここから始まりました！

支え合いの地域づくりの話し合いの始まり

地域包括ケア会議(第2層協議体に向けた準備) 平成30年7月～令和2年2月



菊沢の公共交通と移動支援を知ろう

菊沢地区地域包括ケア会議(第2回)(平成30年8月30日)「交通と移動の勉強会」

- ・菊沢地区の公共交通(コミュニティバス、デマンド交通)の地域内の運行について市の生活課交通対策係の方から説明を受け状況を知る。
- ・道路運送法と移動・外出支援(住民主体の送迎等)について鹿沼市社協(齋藤)と会議のメンバーで勉強会を行う。



勉強会で移動・外出支援のしくみ作りへの検討が始まる

菊沢地区における移動支援の必要性

デマンド交通(予約バス)

■板荷・菊沢地区

(見野、富岡、下遠部、武子、
武子ニュータウン、古賀志町、
高谷、玉田の一部、下武子の一部
栃窪の一部、仁神堂の一部、笹原田)

※菊沢地区予約バスエリアは、
地域が限定される(菊沢の20~30%)

※リーバスは、御成橋・玉田の一部
(バス停まで1~2km、小来川線3本/日)

⇒バスで買い物行っても、帰りは荷物が重く帰れない。
帰りは、タクシー

⇒体調悪く通院したい。バス停まで歩けない。
タクシーで行かざるを得ない

路線バス(関東バス)

■荒針経由(下武子町~仁神堂町~栃窪)

コミュニティバス(リーバス)

■小来川森崎線

(下玉田、上玉田、菊沢西小学校前、
見野駐在所前、原坪、松ヶ久保、下遠部)

■お買い物バス(玉田町)

デマンド交通(予約バス)

■松原地区

(千渡の一部、栃窪の一部、
仁神堂の一部)

移動支援の必要性を強く感じる



移動支援の活動事例を見てみよう

視察研修会(茨城県神栖市)(平成30年10月30日)「**実際の活動事例を知る**」

- ・NPOシニアネットワークかみすの住民主体の送迎について視察を実施
 - ・その他、神栖市の総合事業の説明と意見交換を行う
- 視察によってメンバーで同じミッションに取り組む意識が強まった



質疑応答・意見交換



現スマイルきくさわのメンバーと
シニアネットワークかみすの皆さん

自分たちの移動支援と連携を考えよう

菊沢地区地域包括ケア会議(第3回)(平成30年11月27日)「仕組みと連携」

- ・栃木県生活支援体制整備アドバイザーの小林泰進氏を招いての仕組みの協議
- ・NPO法人福聚会の石綱氏が新たにメンバーとして参加(事業所との連携)
 - 「できることから、少しずつ」
 - 地域の法人や事業所は、ニーズや課題を一緒に考えるパートナー



県のアドバイザーの小林さん



和久井亭の石綱さんが参加！

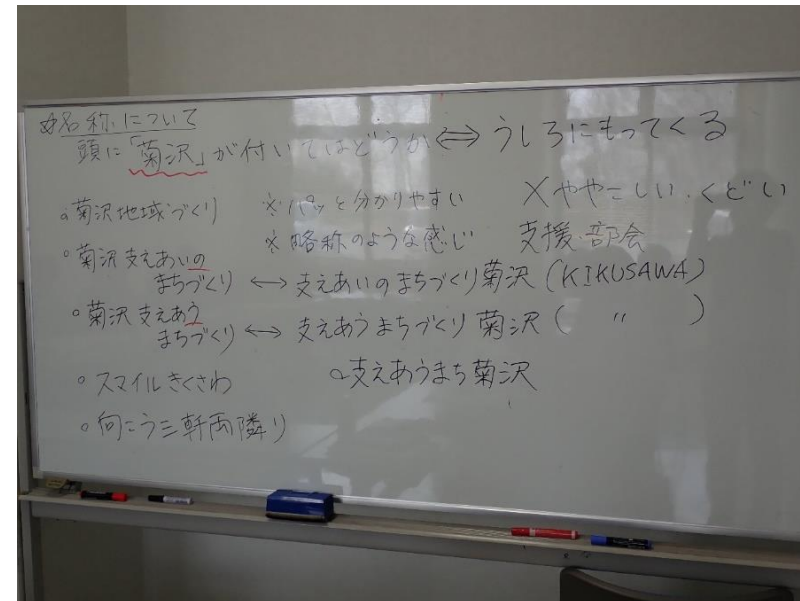
移動支援の仕組みをカタチにしよう

菊沢地区地域包括ケア会議(第4回)(平成31年2月20日)「ワーキングの設置」

- ・今までの課題と方向性を確認、菊沢の協議体の目指す姿を検討
 - 私たちの地域が取り組んでいく課題は協議体を中心に推進し、協議体から地域全体へ展開していく
 - **ワーキングチームの設置**、協議体の名称(愛称)についてアイデア出し



ワーキングチームの設置について



名称にも皆さんの思いが出ています！

協議体として新たにスタート！

菊沢地区第2層協議体「スマイルきくさわ」発足(平成31年3月13日)

- ・今までの地域包括ケア会議から第2層協議体として新たにスタート
→協議体のメンバーだけが頑張るのではなく、顔の見える関係で、地域のみんなが繋がり支え合い、いろいろな世代が集う菊沢地区を目指すことを全員で確認する。



立ち上げ準備～試行運行～本運行までの流れ

	R1.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R2.1	2	3	4
スマイル きくさわ 2層協議体			全国事例 検討			試行検討 説明会準備		試行準備	体制準備 口座開設	体制確認	お試し送迎実績報告 本運行への準備		
ワーキング	方向性の確認 課題の把握		課題整理 他地区状況	送迎の 概要検討		自治会回覧 チラシ配布		お試し送迎の内容検討～準備					
実行委員会								ワーキングから 実行委員会に移行			お試し送迎実績報告 本運行への準備		
地域説明会 (ボラ募集)							スマイル号説明会(2回) ボランティア募集		地域ボランティアは随時募集				
スマイル号										お試し送迎実施 民生委員が利用者募集			本運行 開始

住民へのお知らせとボランティア募集

きくさわスマイル号の募集チラシ

きくさわスマイル号の活動紹介

高齢者の暮らしの足を支えたい！



お迎えに出発

※自分で車の乗り降りと買い物ができる方が利用対象となります



利用者宅に到着



スーパーで買い物



利用者宅へ帰着

【きくさわスマイル号とは】
概ね75歳以上の高齢者で買い物などに行くことのできない方を地域の支え合いで送迎の支援をする取り組みです。運営は地域のボランティアで行っています。(事前の利用登録が必要、タクシーではありません)


利用を希望する
高齢者の方

ボランティアで
活動希望の方

チラシの裏面の利用規約・案内をご覧ください

実施主体 きくさわスマイル号 実行委員会
問合せ先 菊沢コミュニティセンター ☎62-7619 (林沼)
鹿沼市社会福祉協議会 ☎65-5191 (廣藤)

利用を希望する高齢者の方 (利用の方法)




利用できる人 (概ね75歳以上で介護・付添のない方)

- 公共交通機関を使って移動・外出が困難な方
- 高齢者で一人暮らしや夫婦のみの世帯
- 家族が近くにおらず、送迎が受けられない方

※利用規約に同意し、事前申込で登録が必要です
※登録時に送迎サービス補償保険に加入していただきます


①申し込みと登録



利用者 → 民生委員

- 申込書をお住いの地区の民生委員へ提出します
- 年会費2,000円を併せてお支払いください (保険料と必要経費を含みます)

②予約の方法




利用者 ↔ 民生委員

- 民生委員へ利用希望日(平日のみ)を連絡します
- 予約は1か月前から5日前までになります
- 運転手と利用日が決まれば折り返し連絡します

※運転手が手配できない場合は送迎できません

③利用する当日の流れ




自宅から目的地への送迎 → 1人往復 200円 → 菊沢スーパー → スーパー等で買い物

④主な行き先

- 地区内 菊沢コミュニティセンター、ほっとサロン、ほっとホーム
- 市内 ヤオハン、ヨークベニマル、福田屋、たいらや、市役所など

ボランティアで活動希望の方 (募集内容)



地域ボランティア募集 (菊沢にお住まいの方で地域を元気にしたい方)

- 募集1 送迎ドライバー
利用者の送迎に協力してくれる方(月1回でも可能です)
- 募集2 事務局スタッフ
運営に必要な会計・事務及び連絡・調整に協力してくれる方

※補償は鹿沼市地域ボランティア活動補償制度の範囲(自動車事故は除く)

※詳しい内容を知りたい方は問い合わせ先までお気軽にご連絡ください

募集や活動紹介についてチラシを作成

- ①活動の紹介
- ②利用者の募集
- ③地域ボランティアの募集

地区内全自治会へ全戸回覧

- ①地区説明会
(趣旨・ボランティア募集)
- ②利用の推進(民生委員)



活動・情報などの
見える化・見せる化

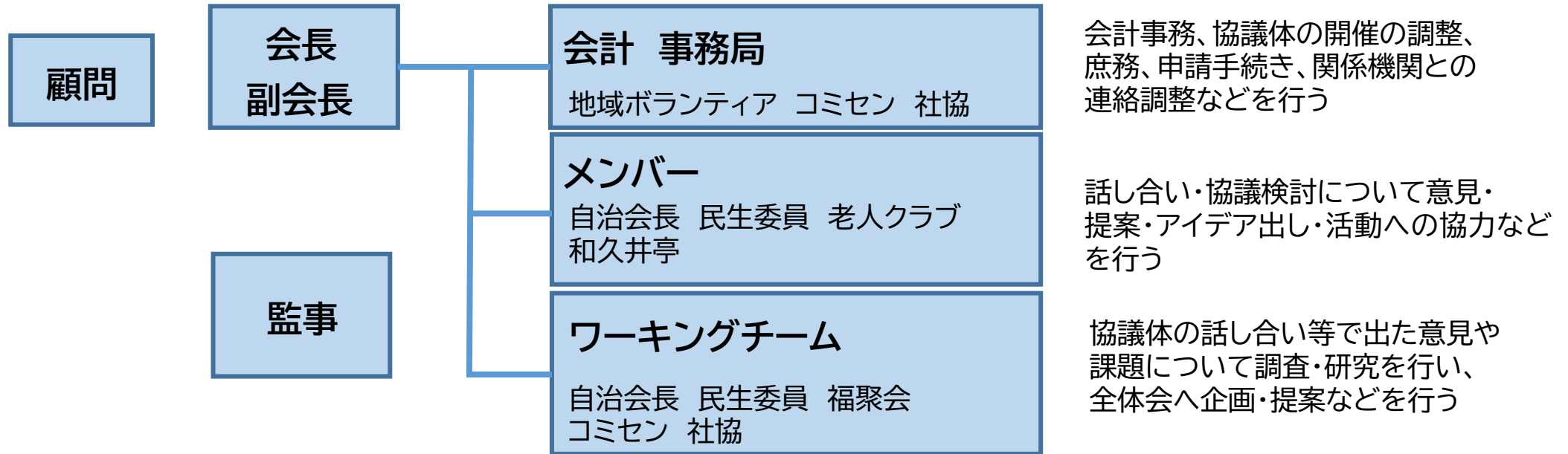


きくさわスマイル号
の仕組み

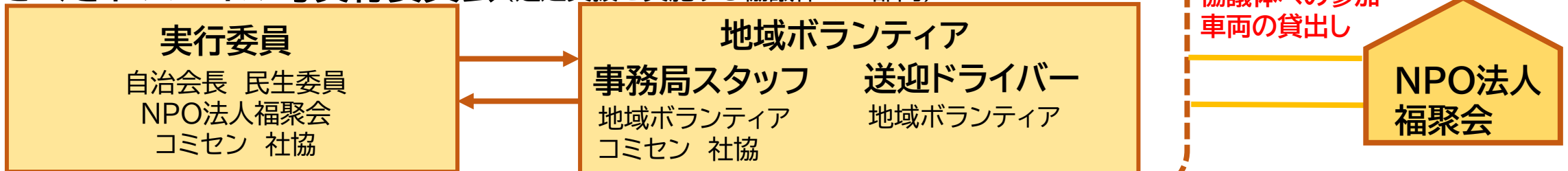
スマイルきくさわ第2層協議体の組織体制

スマイルきくさわ(第2層協議体)

※コミュニティ推進協議会(地区社協)の7部会の中の1つの部会としての位置付け)



きくさわスマイル号実行委員会 (送迎支援を実施する協議体の一部門)



きくさわスマイル号と利用の仕組み

スマイルきくさわ(第2層協議体)組織

スマイルきくさわ
(第2層協議体)

構成の地縁組織など

- ・自治会協議会・民生委員児童委員協議会
- ・老人クラブ連絡協議会・社会福祉協議会
- ・地域の社会福祉法人等(NPO法人福聚会)

きくさわスマイル号
実行委員会

実行委員とドライバーで構成

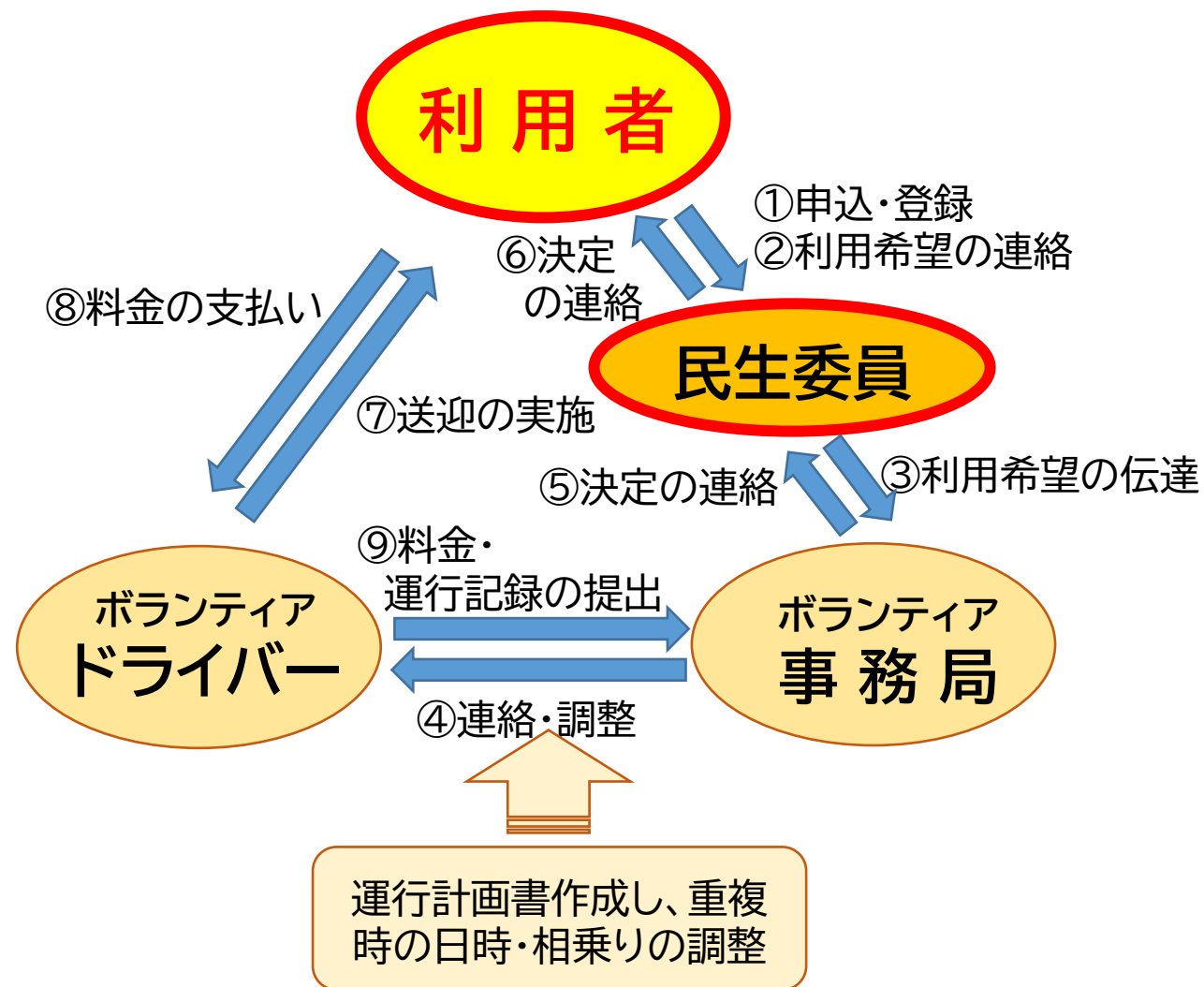
- ・実務者(送迎ドライバー/運行計画者)で送迎時のトピックス、利用状況等情報共有

事務局連絡会

委員長/事務局で構成

- ・予算実績、事業遂行上の課題と協議会、実行委員会提案議案の検討

送迎の仕組み



ボランティア送迎の流れ



利用できる人 (概ね75歳以上で介護・付添のない方)

- 公共交通機関を使って移動・外出が困難な方
 - 高齢者で一人暮らしや夫婦のみの世帯
 - 家族が近くにおらず、送迎が受けられない方
- ※利用規約に同意し、事前申込で登録が必要
※登録時に送迎サービス補償保険に加入

・申し込みと登録



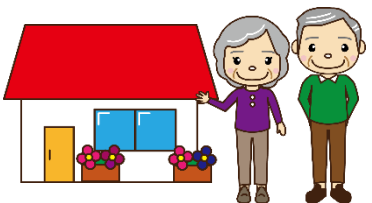
- 申込書をお住いの地区の民生委員へ提出
- 年会費2,000円を併せてお支払い (保険料と必要経費を含みます)

・予約の方法



- 民生委員へ利用希望日(平日のみ)を連絡
 - 予約は1か月前から5日前まで
 - 運転手と利用日が決まれば折り返し連絡
- ※運転手が手配できない場合は送迎できない

・利用する当日の流れ



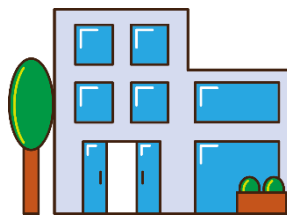
自宅から目的への送迎



地域のボランティアが運転



1人往復 300円



買い物や通院など

スマイル号送迎の様子(買い物の例)

①お迎えに出発

車は福聚会からの貸出し



②利用者宅に到着



④利用者宅へ帰着



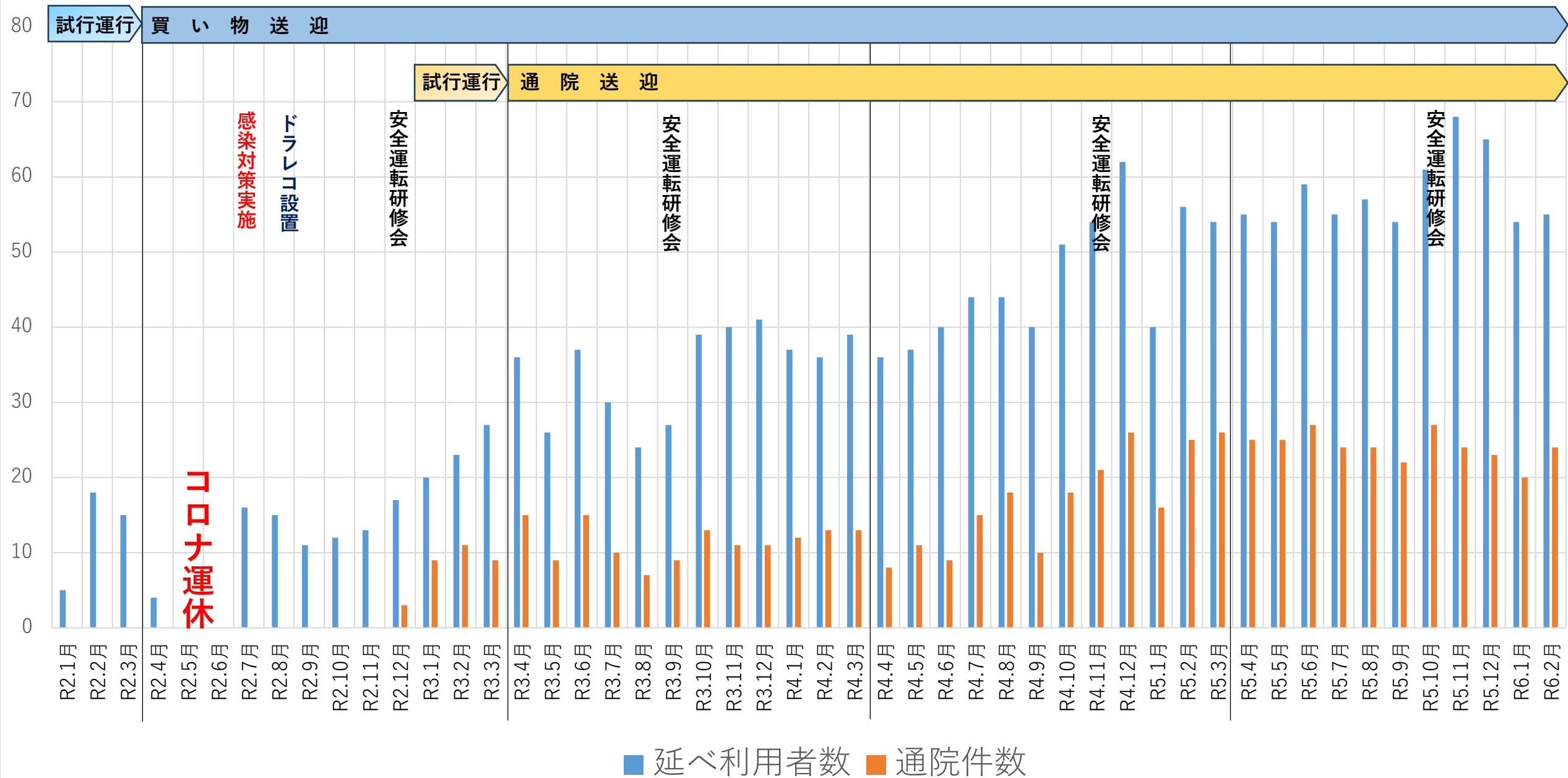
③スーパーで買い物



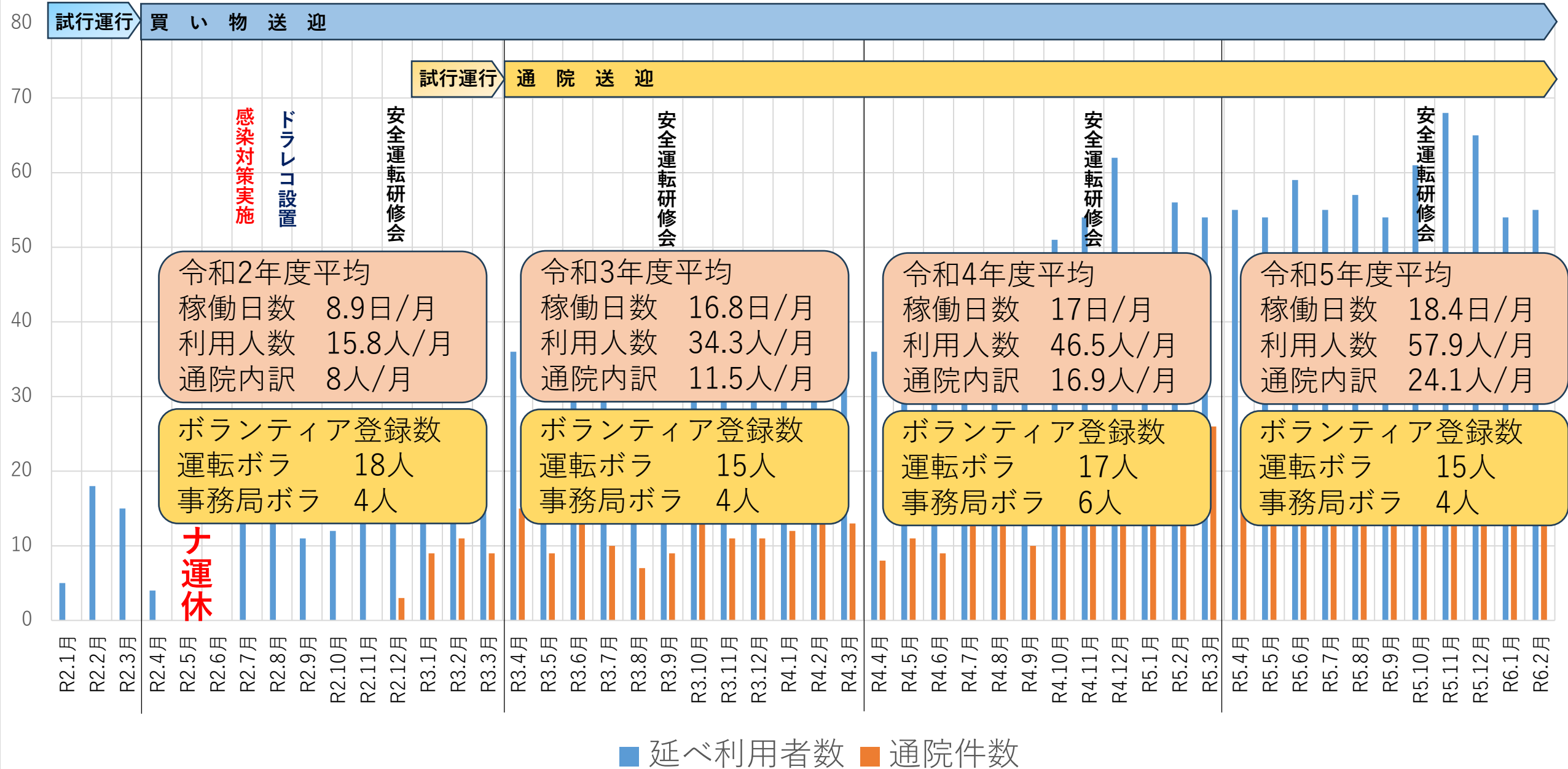


きくさわスマイル号
の活動実績

きくさわスマイル号 運行実績 (令和2年1月～令和6年2月)



きくさわスマイル号 運行実績 (令和2年1月～令和6年2月)



運転ボランティアの声



送迎ドライバーの紹介
相場さん(73歳)

地元で高齢者が免許返納したら生活に困る話を聞いて気になっていました。

ボランティア募集の回覧を見た時「これだ」と思いました。

利用されている方との繋がりもできました。「次も待ってるよ」と言われ**やりがい**を感じます。スマイル号は**地域の繋がりもできる**のでいいことだと思うし、もっと多くの方に利用してもらいたいと思っています。

私もいずれは免許返納をする時がきます。

その時はぜひスマイル号のお世話になりたいです。

地域の活動やボランティアの参加は難しくありません。**「思ったらやってみる」**といいと思います。自分に合えば続けて、合わなければやらなくても大丈夫。**気軽に始めてみてはどうでしょうか。**

つながりを活かして担い手を掘りおこす



神長さん

「たまたま地元で知っているお年寄りが利用していましたので、ボランティアとして参加してみました。」



菊地さん

「民生委員としてなんとなく参加しましたが活動してみると楽しくて断りません。今、若い人を活動に誘っています。」



大出さん

「事務局スタッフから声を掛けられて参加しました。運転だけではなく人と人との関わりがすごく楽しいです。」

スマイルカフェの開催

利用者の方とボランティアの交流を開催



スマイルカフェ

支え合いボランティア送迎の効果

【支え合いの効果】

① 支える側も支えられる側も活動に喜びを感じています

② ご高齢者見守りの一助になっています

③ 普段ひとり暮らしのため、往復の車内は『**嘯が絶えません**』

→そこで『**スマイルカフェ**』を開催(ボランティアと利用者・利用者と利用者の交流、新たな課題の把握)



【地域の方々からの支援・協力・連携】

① 地区内の福祉事業所からの『**車両の貸出**』により送迎支援を実施

② 鹿沼自動車教習所の協力で『**ドライバー安全運転教習**』を開催